

木のいえ一番ゼミナール木塾 経年で美化する建物を目指して 1.木の良さ  
理解度確認テスト

名前 \_\_\_\_\_ 理解度 \_\_\_\_\_ /100

Q1. 動画内で紹介した木の良さについて、空欄に適切な語を記入しなさい。

※同じ番号が繰り返し出てくる箇所は、最初の番号に記載せよ

時が経つとともに、味わいを増すことを木の①( )という。

室内はあめ色に、屋外では紫外線や雨の影響で美しい②( )色に変化する。

しかし、取扱いを間違えると劣化するため、木の③( )を踏まえた、④( )と

⑤( )が必要である。

日本の家の寿命は今までは30年だったが、木造は④( )と⑤( )により

⑥( )年使うことができ、長く使うことで、⑦( )負担を軽減できる。

木は空気中の⑧( )を吸収して成長する。老木では、⑧( )吸収力が減るので、  
伐採し植林して、吸収力を回復させることが大切である。

木は、腐って土に戻る循環資源だが、腐らせずに、建材や家具として利用している期間は  
⑧( )を固着し続け地球⑨( )化を抑制するので、長く使うことが省エネになる。  
すなわち、木は⑩( )て長く使うこと、⑩( )たら植えること、が大切である。

木材・薪は燃焼で⑧( )を発生するが、成長時に大気中から吸収したもののなので、

⑧( )を増やさず、⑪( )な燃料である。

Q2. 動画内で紹介した木を現わして使うメリットについて、空欄に適切な語を記入・もしくは選択  
しなさい。 ※同じ番号が繰り返し出てくる箇所は、最初の番号に記載せよ

木を表面に使うことを①( )仕様と言い、多くのメリットがある。

1. まず、木材表面の湿気が多いと吸収し、少ないと放出する②( )性があり、室内の  
湿度変化を穏やかに保つことができる。

2. また、紫外線の反射率が金属等の他の素材と比べ③( 小さい / 大きい )ため、  
④( )。

3. 木目・年輪が⑤( )のリズムになっており、⑥( )効果がある。

4. 年輪・木目のうち、⑦( 薄い / 濃い )色の⑧( 硬い / 柔らかい )部分は経年で残り、  
⑨( 薄い / 濃い )色の⑩( 硬い / 柔らかい )部分は分解され、年輪・木目が際立ち、  
立体的な質感になる。

5. 木材の持つ⑪( )にはストレスへの抵抗力を高めるホルモンを増やす効果があり、  
内装に木材を使うことで、森林浴効果を得られる。

6. 木材は ⑫( )質で、内部に優れた⑬( )効果を持つ空気を含んでいるため、  
⑬( )性が高い。また、適度に密度もあるため、⑭( )性も持つ。